

検証授業で実施した内容

第1時

- ①裁判のロールプレイング。
- ②個人で判決を考える。
- ③班内で証拠を出し合い、集約する。

第2時

- ④班ごとに、出された証拠を全体に発表する。
- ⑤全ての班から出された証拠を分類し、取捨選択し、検討する。
 - i) 証拠の二面性を認識させる。
 - ii) どの証拠を重要と考えるかを意識させる。
 - iii) 個別の証拠を個々に捉えるのではなく、積み重ねることで全体として判断する。
- ⑥証拠の見方を理解した上で、2回目の判決を考える。
- ⑦証拠の見方について分かったことをまとめさせる。

第3時

- ⑧班内で討論を行い、班としての結論を出させ、合意点、対立点を全体に報告させる。
- ⑨討論をふまえて、3回目の判決を考え、クラス全体で評決を取る。
- ⑩裁判員制度の概略をパンフレットを活用して学習する。
- ⑪裁判員制度の意義と疑問点をまとめさせる。

修正案

第1時

- ⑩裁判員制度の概略をパンフレットを活用して学習する。
- ①裁判のロールプレイング。
- ②個人で判決を考える。
- ③班内で証拠を出し合い、集約する。

第2時

- ④班ごとに、出された証拠を全体に発表する。
- ⑤全ての班から出された証拠を分類し、取捨選択し、検討する。
 - i) 証拠の二面性を認識させる。
 - ii) どの証拠を重要と考えるかを意識させる。
 - iii) 個別の証拠を個々に捉えるのではなく、積み重ねることで全体として判断する。
- ⑦証拠の見方について分かったことをまとめさせる
- ⑥証拠の見方を理解した上で、2回目の判決を考える。その際、第3時の討論で意見の異なる人を説得することをふまえて理由を書かせる。

第3時

- ⑧班内で討論を行い、班としての結論を出させ、合意点、対立点を全体に報告させる。その際、必要に応じて班員を入れ替え、各班に必ず意見が異なる生徒がいるようにする。
- ⑨討論をふまえて、3回目の判決を考え、クラス全体で評決を取る。
- ⑪裁判員制度の意義と疑問点をまとめさせる。

